

大分労基署管内行動災害ゼロ運動を実施します！

主唱 大分労働基準監督署

実施期間：令和7年5月1日～令和8年3月31日

趣旨・目的

令和6年の大分労働基準監督署管内における休業4日以上労働災害死傷者数（新型コロナウイルス患者数を除く。以下同じ。）は769人、業種別では第三次産業の死傷者数は475人と、これらの死傷者数は過去10年間で最多となっています。（右図参照。）

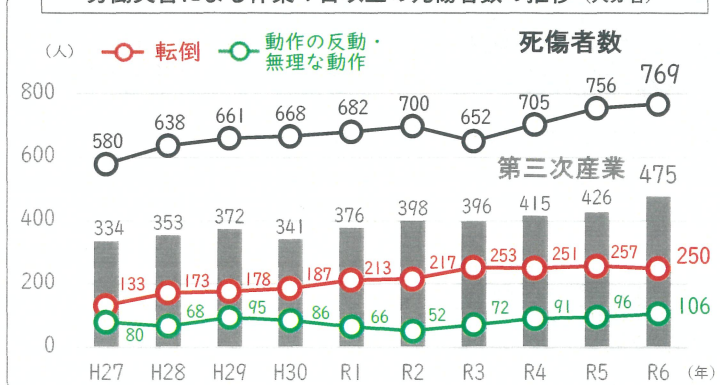
また、令和6年の死傷者数を事故の型別に見てみると、「転倒」による死傷者数は前年比7人減となったものの、腰痛等の「動作の反動・無理な動作」による死傷者数は前年比10人増の106人となり、過去最多となりました。

行動災害を防止するためには、まず、労働災害を自分ごととしてとらえ、対策すべき社会問題として解決策を考えていく機運の醸成を図り、顧客や消費者も含めた全てのステークホルダーが一丸となり、労働者の安全を第一に掲げて取組を進めていく必要があります。

このため、昨年度に引き続き、令和7年5月1日から令和8年3月31日までの間、「令和7年度 大分労基署管内行動災害ゼロ運動」を展開し、行動災害や高年齢労働者の労働災害防止対策、「Safe Work OITA」のロゴマークを活用した取組に加え、新たに、熱中症予防対策や「Cool Work OITA」のロゴマークを活用した取組等の「安全の見える化」事例を募集（裏面参照。）することとしました。

事業主の皆様におかれましては、本運動及び「安全の見える化」取組事例募集の趣旨を御理解いただき、積極的な取組を推進していただくようお願いします。

労働災害による休業4日以上死傷者数の推移（大分県）



実施者

管内すべての事業場の経営者及びその労働者
労働災害防止団体
各事業者団体

主唱者の実施事項

- ① 「令和7年度 大分労基署管内行動災害ゼロ運動」への参加をあらゆる機会を通じて呼びかけ、管内の機運の醸成に努める。
- ② 別途定める「令和7年度 大分労基署管内行動災害ゼロ運動『安全の見える化』取組事例募集要領」の周知を図り、積極的な取組事例の募集について呼びかける。
- ③ 行動災害防止、高年齢労働者の労働災害防止対策、熱中症予防対策等の顕著な取組を行っている事業場について、事業場の承諾を得て大分労働局ホームページや「監督署通信ご安全に！」において、事業場名や「安全の見える化」の取組内容を公表するとともに、優秀な取組を実施している事業場について表彰する。
- ④ 実施者の実施事項について指導、援助する。

実施者の実施事項（抜粋）

- ① 令和7年度大分労基署管内行動災害ゼロ運動及び本運動「安全の見える化」取組事例募集要領に基づく取組の推進、積極的な参加
- ② 経営トップによる行動災害防止への所信表明を通じた関係者の意思の統一及び安全意識の高揚
- ③ 「14次防取組状況点検票」による各項目に係る点検の実施及び当署への報告
- ④ 労働災害防止活動の推進、熱中症予防対策、事業場内外の安全意識の高揚等を目的とした「Safe Work OITA」「Cool Work OITA」の活用

- ⑤ 安全衛生管理体制の整備・確立（役割・権限の明確化）
- ⑥ 職場巡視、4S活動（整理・整頓・清掃・清潔）、KY（危険予知）活動、ヒヤリ・ハット事例の共有等の日常的な安全衛生活動の充実・活性化
- ⑦ 転倒災害防止対策
 - ア 転倒災害を発生させる環境要因を解消する物理的対策（ハード対策）
 - ・作業通路における段差や凹凸、突起物等の解消
 - ・照度の確保、手すりや滑り止めの設置
 - ・危険箇所の表示等の危険の「見える化」の推進
 - イ 労働者の高齢化に伴う身体機能の低下への対策（ソフト対策）
 - ・「転倒等リスク評価セルフチェック票」等による身体機能の低下に起因する転倒リスクの可視化及び身体機能の維持向上のための取組の促進
- ⑧ 職場における腰痛予防対策
 - ・職場における腰痛予防対策指針に基づく取組
 - ・厚生労働省HP掲載の腰痛予防対策に係る教材、資料、取組事例、腰痛予防対策動画の活用
 - ・大分県が実施する「ノーリフティングケア用福祉機器導入支援事業（介護サービス事業者に限る。）」の活用
- ⑨ 「高年齢労働者の安全と健康確保のためのガイドライン」に基づく対策
 - ・事業者による健康保持増進及び労働災害防止に積極的に取り組む旨の方針表明
 - ・身体機能の低下等による労働災害の発生を考慮したリスクアセスメントの実施（又は「エイジアクション100」のチェックリストの活用）
 - ・事業場の実情に応じた施設、設備、装置等の改善、高年齢労働者の特性を考慮した作業内容の見直し
 - ・体力の状況を客観的に把握し、労働者自身による身体機能の維持向上を促す体力チェックの活用